

New Products

CHECK & REPORT

ベース・アンプ

PJB史上最小のプロ仕様ベース・アンプ“ダブルフォー”が登場

Phil Jones Bass Double Four

フィル・ジョーンズ・ベース/ダブルフォー

価格：オープン・プライス(実勢価格：39,900円) 12月末発売
問：ジェーイーエスインターナショナル(TEL.0561-72-9801) www.jes1988.com

これまでに数多くの画期的なベストセラーを発表したフィル・ジョーンズ・ベース(以下PJB)。今回、登場する超小型・軽量アンプ、ダブルフォーは、プリアンプからパワーアンプ部まで、完全デジタル制御、PWM回路※1)により、素早いレスポンスとノイズレスなサウンドを実現。自宅などで本格的なプロ・サウンドを体感できるこのアンプを池田達也が試奏した。

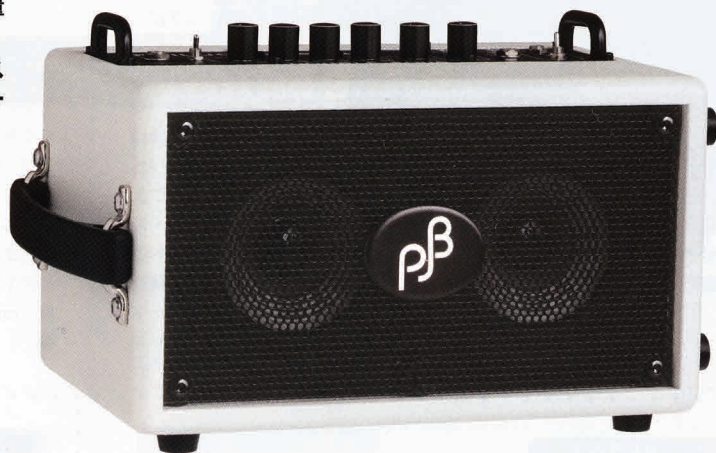
PJBから新製品が発表される度に、革新的なデザインと画期的な機能、サウンドの素晴らしさに驚かされてきましたが、今回の衝撃度は過去最高と言っても過言ではありません。横幅が30cmにも満たないコンパクトなサイズにも関わらず、大型で高出力のハイエンド・アンプを彷彿させる重低音や音圧が得られる点に驚きを通り越して笑ってしまったほどです。フル・デジタルPWM(パルス幅変調回路)アンプやパッシブ・ラジエター、4インチ・スピーカーなど、Double Fourのために新たに開発された新技術の採用により、激しいスラップやLow-B弦を弾いても歪むことなく、サイズからは想像できない迫力あるベース・サウンドを実現させていて、見た目の印象とサウンドとのギャップに自分の目と耳を疑ってしまったと同時に、オーディオ界で天才エンジニアと評され、スタジオ用スピーカーの制作なども長年手がけてきたフィル・ジョーンズの凄さを改めて痛感することとなりました。

PJBには小型アンプの常識を覆したとされるBriefcaseやBass CUBといったエポック・メイキングなアンプがラインナップされていますが、さらにダウン・サイジングされてもPJBの誇る“ピュア・サウンド”はDouble Fourにもしっかりと継承されていて、音量的にはスタジオやライブでの使用は難しいとは思われるものの、“卓上アンプ”として一般的な家庭での練習には充分過ぎる程の音量が得

「小型ベース・アンプ界に新たな旋風を巻き起こすエポック・メイキングなアンプ」池田達也



池田達也
http://www.007.upp.so-net.ne.jp/tatsuya-bass/



ホワイト

られますから、先述したアンプと同様に世界中のベーシストの注目を集めると共に、またもや小型ベース・アンプ界に新たな旋風を巻き起こすことは必至でしょう。横置き/縦置きを選択可能で、iPod やMP3プレイヤーを接続するAUX InputやDTMやレコーディングの際に有効なLine Outを備えている点も見逃せませんし、ブラック、レッド、そしてホワイトの3色から好みに応じたカラーが選べるのも魅力的です。

たとえ個人練習であっても心地良いサウンドで練習したいのがすべてのプレイヤー共通の願いだと思います。その反面、周囲への配慮も必要ですから、自宅での練習をヘッドフォンを使って行っている方も少なくないでしょう。しかし、ヘッドフォンは特有の閉塞感に加え、長時間の使用は耳への負担が少なくありませんし、いくら高性能なヘッドフォンを使ったにせよ、ベースならではの体を感じる音圧やヴァイ

ブレーションまでは得ることができません。その点、Double Fourは僅か3.9kgという手軽に持ち運び可能なサイズからリッチなベース・サウンドがパーソナル・ユースに適した音量で得られますから、自宅や楽屋での練習の力強い味方となってくれることは間違いありません。僕自身、数年前からPJBの製品を愛用してきましたが、そんな僕ですら試奏を忘れ、ずっと弾いていた気分がにせられませんでした。PJBの愛用者の方はもちろんのこと、いまだPJB未体験の方にも、この機会に体感していただくことをお勧めします！

SPEC ●パワー：70W ●スピーカー：2×4インチ(PJBカスタム・スピーカー+パッシブ・ラジエター) ●入出力：1/4"Input、AUX-input、Line-Out、Headphone-Out、DC-Power input socket ●コントロール：セレクター(ミュート/ハイ/ロー)、ゲイン、ベース、ミドル、トレブル、マスター・ボリューム、AUXレベル、パワー・スイッチ ●サイズ：280(W)×160(H)×200(D)mm、重量：3.9Kg ●カラー：ホワイト、ブラック、レッド



2基搭載された4インチ・スピーカーは、各々独立してアンプ駆動。レスポンスに優れ、クリアでパンチのあるサウンドが得られる。



背面にあるRALFER※2)と呼ばれるパッシブ・ラジエターを搭載することで豊かな低音を実現。30～150Hzの低域を補強する今までにないシステムだ。



コントロール・パネル

※1=PWM:Pulse Width Modulation

※2=RALFER:Rectangular Auxiliary Low Frequency Radiator

※価格はすべて税込みです